六月五雲能

六月十八日（土）
午後一時始
正午開場
於　宝生能楽堂

演目の解説

13:00

氷室

シテ　天女　鶴田　航己
ツレ　田崎　淳司
シテ　當山　甫

ワキ　野口　能弘
ワキツレ　野口琢弘
〃　吉田祐一
間　山本則重
〃　山本則秀

後見　水上　優
澤田　宏司
辰巳大二郎

地謡　石塚　尚寿
金井　賢郎
川瀬　隆士
金森　良充
小林　晋也
山内　崇生
小倉　健太郎
佐野　玄宜

大鼓　飯嶋六之佐
小鼓　田邊　恭資
太鼓　林　雄一郎
笛　杉　信太朗

能「氷室」（ひむろ）

亀山院に仕える臣下が氷室の様子を人に初めて見せる。立春の今日は夏の氷室の守りを語り、発見した氷を天女に持たせる。氷室の由来を尋ねると、氷室の中には氷室の祭りの様子が現れ、氷室の中に姿を消す。夜になって調べると、ひとりの老人がこの氷室の主人であることが分かる。老人は、氷室の守りを託すと言い残して、夜明けの空に消えていく。

14:30

お茶の水

山本則秀

山本則俊
山本則重

〈休憩十五分〉

15:05

祇王

シテ　大友　順
ツレ　和久荘太郎

ワキ　安田　登
間　若松　隆

後見　今井　泰行
東川　尚史
藤井　秋雅

地謡　石黒　空
木谷　哲也
金野　泰大
佐野　弘宜
高橋　憲正
佐野　由於
辰巳　満
内藤　次郎
飛能　能

大鼓　佃　良太郎
小鼓　清水　和音
笛　小野寺竜一

能「祇王」（ぎおう）

平清盛の寵愛を一身に受け白拍子の祇王は、後かたい御前に、二人共仕会うと清盛を控えて、二人は、清盛の前に出て、太郎の仕がもえと迎えにいや清盛の御前に、二人に揃瀬尾清盛を改め、曲身同め、

16:30

船橋

シテ　渡邊　茂人
ツレ　今井　基

ワキ　梅村　昌功
ワキツレ　小林克都
間　山本凜太郎

後見　宝生　和英
藪　克徳

地謡　岩上　昂平
朝倉　大輔
辰巳　和磨
金森　隆晋
小倉　伸二郎
金森　秀祥
高橋　亘
亀井　雄二

大鼓　原岡　一之
小鼓　森　貴史
太鼓　大川　典良
笛　熊本俊太郎

能「船橋」（ふなばし）

旅の山伏が上野の国佐野の船橋へやって来ると、里の若い男女に会いました。二人は、橋の建立のため勧進をしていました。昔、この橋を通れば路尋ねられた。二人の引き人とは、男が落嫌て逢う。そこ語りの夜、夕闇死に供養を中だ橋があげたっを物外さ、て行き前を

〈休憩十五分〉

終演予定十七時五十分頃

チケット料金（税込）

全席自由席
一般　5,500円
学生　2,750円
（当日要学生証提示）

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで